

調査  
ノート

平成14年度  
御船層群脊椎動物化石発掘調査

平成10年度から天君ダム近くの恐竜化石発掘現場で続けられている化石発掘集中調査も今回で5回目を数えます。今年は、8月20日から31日までの12日間の予定で調査がスタートしました。

調査は、現場を保護する目的で設置されているフェンスの撤去に始まり、除草作業、化石層の上にたまった土砂の撤去、重機による化石層上部の岩盤の掘削と順調に進みました。化石の産出状況を記録し、今後の発掘の方向性を判断する材料とするために、露頭に位置を示すマス目（グリッド）を入れて発掘作業を開始しました。残念ながら、最後の2日間は台風の接近の影響で、調査を中止せざるをえませんでした。実際に調査に参加したのは、県内の小中学校の先生や化石愛好家の方々、それに大学生・大学院生など延べ70人です。炎天下の中、汗と砂埃にまみれて一生懸命がんばっていただきました。

現場の観察では、約500個の脊椎動物化石を確認することができました。化石のクリーニングをおこなってみたいと詳しいことはわかりませんが、どうやら肉食恐竜（獣脚類）の歯の化石をはじめ、ワニ類の頭骨の一部や状態のよいカメ類の甲羅の化石などが含まれているようです。

これらの骨の化石はどうやら水の流れの働きによって選別されてたまったものらしく、砂の中に埋もれる前に壊れてしまっていたものなども多くみられます。



発掘調査のようす  
強い日差しをよけるために、ビニールシートのテントができた。

展示資料  
紹介

ディノニクスの全身骨格  
*Deinonychus antirrhopus* Ostrom, 1969

ディノニクスは、北アメリカの白亜紀前期の地層から発見されている、**全長約2.5mのドロマエオサウルス科の恐竜**で、鋭い歯と大きなかぎ爪を持っています。特にうしろ足の2番目の指のかぎ爪は体の大きさのわりにとっても大きく、この仲間の恐竜を有名にしている特徴のひとつです。

**ドロマエオサウルス科**は、ドロマエオサウルス亜科とペロキラプトル亜科に分類されますが、この二つのグループは、歯の特徴で簡単に区別することができます。ドロマエオサウルス亜科の恐竜の歯は、前後の鋸歯の大きさがほとんど等しいのに対して、ペロキラプトル亜科の恐竜の歯は**後部の鋸歯が前方の鋸歯より2倍近く大きい**のです。御船町でもこのペロキラプトル亜科の特徴を持った歯の化石が発見されており、約9000万年前の御船にもこの仲間の恐竜が生息していたことがわかります。

**ディノニクス**は、1969年に命名されましたが、当時は、恥骨などが見つかっておらず、1973年になって初めて、座骨と平行に後方に長くのびる恥骨の存在が明らかになりました。これもドロマエオサウルス科の重要な特徴のひとつです。



ディノニクス

# Dinosaur Topics

No.6  
2002.12.15



- 期 日：8月3日(土)～8月4日(日)
- 参加者：50名

初  
企画!

今回のお泊まり博物館は、御船町青少年健全育成町民会議との共催により、町内外の子どもたちの交流をおした仲間づくりを目的として実施されました。

8月3日午後1時に集合し、しばらくの間、おうちの人とはおわかれです。熊本大学の学生8名もグループのリーダーとして参加してくれました。

開講式の後、さっそく**化石採集**に出発しました。きびしい暑さの中、一生懸命化石をさがし、自分の宝物が見つけたようです。カルチャーセンターにもどると、ふたつのグループに分かれて、御船町老人憩いの家でお風呂に入りました。お友だちと一緒にのお風呂でちょっと興奮気味でしたが、化石採集で汗と泥にまみれていたため、入浴後はみんなさっぱり。

博物館に戻ると裸足でも歩けるように展示室の床をきれいに掃除して、いよいよ夕食です。恐竜を眺めながら各グループでまとまって夕食をとりました。いつもは飲食禁止となっている博物館の展示室ですが、今日だけは特別です。

●日程表

| 8月3日(土)                 | 8月4日(日)    |
|-------------------------|------------|
| 13:00 開講式               | 6:20 起床    |
| 14:00 化石採集              | 6:30 ラジオ体操 |
| 16:00 御船町老人憩いの家<br>でお風呂 | 7:00 朝食    |
| 17:30 博物館の掃除            | 7:30 おえかき  |
| 18:00 夕食                | 10:00 解散   |
| 20:00 天体観測              |            |
| 22:00 就寝                |            |



みんなとお別れの記念撮影

楽しかった! お泊まり博物館



寝袋や毛布を持って集合



大好きな恐竜について調べたよ



城南町にある県民天文台にも行きました  
星は見えなかったけど望遠鏡はとても大きかった。



化石採集にも挑戦しました。



御船町恐竜博物館情報誌  
ダイナソー トピックス No.6

■発行 日/平成14年12月15日

■編集・発行/御船町恐竜博物館

〒861-3207 熊本県上益城郡御船町大字御船995-3  
TEL (096) 282-4051 FAX (096) 282-4157

<http://www.mifunemuseum.jp/>

Email/info@mifunemuseum.jp





初企画! **楽しかった! お泊まり博物館**



夢の中に恐竜がでてくるかな?

お腹も一杯になったところで、おたのしみのひとつ**天体観察**に出発。城南町の県民天文台にやってきました。あいにくの曇り空で星が出ていませんでしたが、台長の艶島先生が、映像を交えながら、おりひめやひこぼしの話などをわかりやすくしてくださいました。お話の後、大きな望遠鏡を見学することができました。

天文台を後にして、博物館に到着し就寝の準備です。歯磨きをして、トイレを済ませ、**さあどこに寝るのか寝袋を持ってうろうろ**。「恐竜の頭の前がいい!」「怖いからこっちにしよう!」・・・ちゃんと眠ってくれるのだろうかスタッフやリーダーを心配させましたが、やがて静かな寝息の音が聞こえてきました。小学1年生も参加していましたが、寂しくなって泣き出す子もなく、けがや病気もなく、無事朝を迎えました。

ラジオ体操の後、朝食をとり、2日間の思い出を絵にしました。

いよいよ、リーダーのお兄さんやお姉さんとお別れです。お迎えにきたお父さんやお母さんの姿を見つけてほっとしたような表情も伺われました。

この行事は、恐竜博物館としても初の試みでした。子どもたちはとても元気でパワーがあり、彼らをまとめる大学生のリーダーの役割はとても重要なものでした。



## 小さい 画伯たちの力作です。

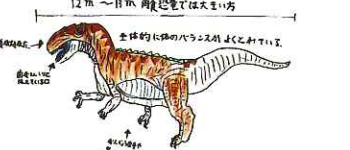


ディノックス 小公永江和



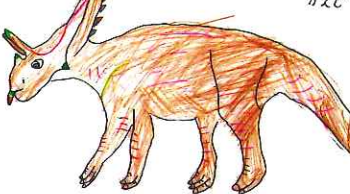
アロ サウルス

身長 12m-15m 体重 12-20t およそ1億五千万年前に生きていた



カスモサウルス

かっこいい カスビ



カネトミムス

いまだに? 恐竜の化石をさがす



恐竜の絵も  
描いたよ!



## 第12回恐竜の郷 みふね夏休み化石教室

今年も夏休み恒例の化石教室が開催されました。  
約300名の参加者がありました。



化石が  
たくさん  
あるぞ!!

化石ひろばでの化石採集



なんだろうな?

化石鑑定  
コーナー

夏休みの恒例行事、「夏休み化石教室」に今年も九州一円から**308名の参加**がありました。**今年で12回目**。

「家族のイベントとして、毎年楽しみにしています!」と熊本市内から参加された方。採集した化石を見せて「**親が(化石採集に)魅了されてしまいました(笑)**」とお母さん。子どもたちだけでなく、おとなまでも、9000万年も大地で眠り続けていた化石との出会いに感動。強い陽ざしの中、1時間ほど化石採集に挑戦しました。

化石採集のほかにも、カルチャーセンターで化石のレプリカづくり・アンモナイトのバッジづくり・ペーパークラフト・おり紙などのワークショップがあり、できあがった本物のアンモナイトのバッジを手にして「**わあ!すごい、ほら!**」とうれしそう。レプリカづくりでは、親子いっしょに着色に夢中になる姿があらこちらで見られ、日頃の慌ただしい生活では、なかなか経験できない、無心に何かに没頭する時間を楽しまれているようでした。また、採集した化石の鑑定や標本作製など、化石を本格的に学習したい人のためのコーナーも人気で、熱心にメモを取りながら、自分の見つけた化石を整理している姿が印象的でした。いろいろな楽しみ方で、化石を満喫していただくことができたようです。



天君ダム近くの現場での恐竜化石発掘調査も中盤を迎えた8月25日(日)、現地見学会を実施しました。例年実施してきた行事ですが、昨年までは、20~30名の方が見学にこられる程度でした。しかし、今年は、**朝早くから約100名の方が見学**にいらっしゃいました。発掘調査をおこなうスタッフも、説明に大忙し。もともと説明会だけの予定でしたが、化石が含まれている石の説明をしたところ、ある参加者の方が再調査のために積んであった石の中から「これはなんですか?」と骨の化石を発見。見学会終了後も、一度調べた岩石をもう一度調査する2次調査のお手伝いをして下さる方もあり、今後の利用者参加型の博物館運営へのヒントとなりました。



メールやFAXでも  
OK!

## 「ダイナソートピックス」に記事を投稿してください!

御船町恐竜博物館が、「モノが陳列されているつまらない場所」にならないように、博物館に集う皆様とさまざまな活動をおこなっていきたくと考えています。

博物館の活動にどんどん顔を出し、口を出し、自分たちの博物館として育ててもらえればと思っています。「ダイナソートピックス」編集室では、博物館に対する提言、話題提供、研究ノート、記事など広く募集しております。多数のご投稿お待ちしております。



楽しい行事や  
話題いっぱい!!

## 御船町恐竜博物館 e会員募集中!

御船町恐竜博物館では、行事案内や最新ニュースを電子メールで受け取ることができる、e会員を募集しております。現在会員数は150名を数えております。

入会金、会費等は無料で、申込方法はとても簡単。下記アドレスまで、メールをお送りくださるだけで結構です。

[email] info@mifunemuseum.jp